

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名			
病院名	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,888,432	
決算規模(千円)	788,998,145	
標準財政規模(千円)	428,688,956	
財政力指数	0.50803	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	169.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	33,712			
1 経常収益	33,712			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	33,712			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	33,712			
2 経常費用	33,712			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	-	-	8.7	12.8
経費	-	-	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,712			
(うち支払利息)	33,712	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	61.1
修正医業収支比率	-		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	68.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	総合病院岡山市立市民病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	375,817,774
標準財政規模(千円)	206,289,107
財政力指数	0.76
経常収支比率(%)	89.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	41,860			
1 経常収益	41,860			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	41,860			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	41,860			
2 経常費用	41,860			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	41,860			
(うち支払利息)	41,860	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96886.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	375,817,774
標準財政規模(千円)	206,289,107
財政力指数	0.76
経常収支比率(%)	89.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	5.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,880			
1 経常収益	3,880			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,880			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,880			
2 経常費用	3,880			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,880			
(うち支払利息)	3,880	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96886.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市			
病院名		国立病院機構岡山市立金川病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,592 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	71.4	66.3	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	71.4	66.3	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		35.2	31.7	32.6

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	375,817,774	
標準財政規模(千円)	206,289,107	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	81,760			
1 経常収益	81,760			
(1) 医業収益	305			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	305			
(うち他会計負担金)	305			
(2) 医業外収益	81,455			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	59,027			
(うち長期前受金戻入)	22,404			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	95,143			
2 経常費用	95,143			
(1) 医業費用	83,356			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	31,641	10374.1	8.7	12.7
経費	51,715	16955.7	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,787			
(うち支払利息)	9,031	2961.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-13,383		
	純損益	-13,383		
累積欠損金	295,503			
経常収支比率	85.9		103.3	101.7
医業収支比率	0.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	72.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	19453.1		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	72.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	23.6		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	653,348
1 固定資産	653,048
(1) 有形固定資産	653,034
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14
2 流動資産	300
(1) 現金及び預金	300
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	528,937
1 固定負債	504,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	504,900
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	23,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,798
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	939
(1) 長期前受金	135,921
(2) 長期前受金収益化累計額()	134,982
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	124,411
1 資本金	419,892
2 剰余金	-295,481
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-295,503
負債・資本合計	653,348
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	54,513	59,332
資本勘定繰入	11,222	22,444
計	65,735	81,776

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96886.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		倉敷市			
病院名		倉敷市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,117 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	198	62.1	66.3	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	62.1	66.3	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.7	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	474,592	
決算規模(千円)	215,286,796	
標準財政規模(千円)	112,923,732	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,305,401			
1 経常収益	4,305,391			
(1) 医業収益	3,399,080			
(うち修正医業収益)	3,275,815			
入院収益	2,092,242			
外来収益	985,095			
診療収入計	3,077,337			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	321,743			
(うち他会計負担金)	123,265			
(2) 医業外収益	906,311			
(うち国・都道府県補助金)	435,883			
(うち他会計補助・負担金)	138,394			
(うち長期前受金戻入)	87,894			
(うち資本費繰入収益)	105,537			
(3) 特別利益	10			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,652,656			
2 経常費用	3,651,139			
(1) 医業費用	3,515,845			
職員給与費	2,102,769	61.9	59.4	67.0
材料費	385,490	11.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	187,089	5.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	195,307	5.7	11.8	9.4
減価償却費	414,623	12.2	8.7	10.2
経費	608,894	17.9	22.1	28.8
(うち委託料)	410,782	12.1	11.7	13.2
研究研修費	3,065			
資産減耗費	1,004			
(2) 医業外費用	135,294			
(うち支払利息)	30,759	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,517			
損益	654,252			
純損益	652,745			
累積欠損金	2,600,592			
経常収支比率	117.9		103.3	104.5
医業収支比率	96.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	93.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	110.8		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,619,981
1 固定資産	7,443,433
(1) 有形固定資産	7,443,433
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,176,548
(1) 現金及び預金	1,742,632
(2) 未収金及び未収収益	430,883
(3) 貸倒引当金()	4,659
(4) 貯蔵品	7,692
3 繰延資産	-
負債合計	9,524,050
1 固定負債	7,239,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,725,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	619,762
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	894,442
(7) 一 負債	-
2 流動負債	630,112
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	297,063
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	27,885
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	138,520
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	150,883
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,654,629
(1) 長期前受金	2,340,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	685,807
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	95,931
1 資本金	2,527,760
2 剰余金	-2,431,829
(1) 資本剰余金	168,763
(2) 利益剰余金	-2,600,592
負債・資本合計	9,619,981
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	258,430	261,659
資本勘定繰入	144,164	144,164
計	402,594	405,823

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	玉野市		
病院名	玉野市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	55.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	55.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	56,531	
決算規模(千円)	26,604,532	
標準財政規模(千円)	15,386,536	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	921			
1 経常収益	921			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	921			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	921			
2 経常費用	921			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	921			
(うち支払利息)	921	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		笠岡市			
病院名		笠岡市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,571 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	98.6	93.3	36.7
療養	39	97.0	87.2	34.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	98.0	90.9	36.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	9.0	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	46,088	
決算規模(千円)	24,860,587	
標準財政規模(千円)	13,413,490	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	51.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,432,748			
1 経常収益	2,431,672			
(1) 医業収益	1,822,724			
(うち修正医業収益)	1,753,594			
入院収益	1,177,848			
外来収益	486,576			
診療収入計	1,664,424			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	158,300			
(うち他会計負担金)	69,130			
(2) 医業外収益	608,948			
(うち国・都道府県補助金)	174,697			
(うち他会計補助・負担金)	400,046			
(うち長期前受金戻入)	7,785			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,076			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,054,099			
2 経常費用	2,042,374			
(1) 医業費用	1,942,275			
職員給与費	1,038,105	57.0	59.4	76.5
材料費	317,315	17.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	171,252	9.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	119,302	6.5	11.8	6.4
減価償却費	85,399	4.7	8.7	11.5
経費	488,043	26.8	22.1	32.6
(うち委託料)	265,523	14.6	11.7	14.8
研究研修費	2,260			
資産減耗費	11,153			
(2) 医業外費用	100,099			
(うち支払利息)	3,128	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	11,725			
損益	389,298			
純損益	378,649			
累積欠損金	3,486,098			
経常収支比率	119.1		103.3	101.5
医業収支比率	93.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	90.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	19.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	96.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,893,571
1 固定資産	1,060,075
(1) 有形固定資産	1,021,140
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	33,600
2 流動資産	833,496
(1) 現金及び預金	457,928
(2) 未収金及び未収収益	375,565
(3) 貸倒引当金()	2,352
(4) 貯蔵品	2,355
3 繰延資産	-
負債合計	1,348,021
1 固定負債	938,523
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	261,997
(2) その他の企業債	248,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	120,000
(6) 引当金	308,326
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	247,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,610
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	61,440
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	87,874
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	162,340
(1) 長期前受金	254,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	92,096
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	545,550
1 資本金	3,942,427
2 剰余金	-3,396,877
(1) 資本剰余金	89,221
(2) 利益剰余金	-3,486,098
負債・資本合計	1,893,571
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	469,176	469,176
資本勘定繰入	31,300	40,900
計	500,476	510,076

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	191.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		井原市			
病院名		井原市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,444 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	77.6	78.9	65.6
療養	60	47.9	47.2	49.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	66.8	67.4	60.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	15.1	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	38,384	
決算規模(千円)	24,498,896	
標準財政規模(千円)	12,742,361	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,076,320			
1 経常収益	3,076,320			
(1) 医業収益	2,558,416			
(うち修正医業収益)	2,518,728			
入院収益	1,438,853			
外来収益	687,089			
診療収入計	2,125,942			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	432,474			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	517,904			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	392,389			
(うち長期前受金戻入)	105,468			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,797,509			
2 経常費用	2,797,509			
(1) 医業費用	2,679,950			
職員給与費	1,639,373	64.1	59.4	67.0
材料費	287,003	11.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	109,579	4.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,321	5.8	11.8	9.4
減価償却費	177,696	6.9	8.7	10.2
経費	567,617	22.2	22.1	28.8
(うち委託料)	182,139	7.1	11.7	13.2
研究研修費	5,946			
資産減耗費	2,315			
(2) 医業外費用	117,559			
(うち支払利息)	30,794	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	278,811			
純損益	278,811			
累積欠損金	255,688			
経常収支比率	110.0		103.3	104.5
医業収支比率	95.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	94.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,432,571
1 固定資産	2,341,327
(1) 有形固定資産	2,304,388
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	36,587
2 流動資産	2,091,244
(1) 現金及び預金	1,240,768
(2) 未収金及び未収収益	821,199
(3) 貸倒引当金()	297
(4) 貯蔵品	29,406
3 繰延資産	-
負債合計	3,756,068
1 固定負債	2,062,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,970,456
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	91,925
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	542,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	112,210
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	96,389
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,150,906
(1) 長期前受金	2,683,476
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,532,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	676,503
1 資本金	812,351
2 剰余金	-135,848
(1) 資本剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-143,586
負債・資本合計	4,432,571
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	432,077	432,077
資本勘定繰入	198,666	198,666
計	630,743	630,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		高梁市			
病院名		国保成羽病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	54	65.4	79.4	79.1
療養	42	4.0	2.7	25.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	38.5	45.9	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	25.7	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	29,072	
決算規模(千円)	25,724,396	
標準財政規模(千円)	13,897,985	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	52.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,462,645			
1 経常収益	1,462,645			
(1) 医業収益	1,003,299			
(うち修正医業収益)	968,988			
入院収益	396,193			
外来収益	487,471			
診療収入計	883,664			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	119,635			
(うち他会計負担金)	34,311			
(2) 医業外収益	459,346			
(うち国・都道府県補助金)	109,086			
(うち他会計補助・負担金)	239,324			
(うち長期前受金戻入)	36,723			
(うち資本費繰入収益)	43,282			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,581,895			
2 経常費用	1,581,895			
(1) 医業費用	1,489,537			
職員給与費	855,517	85.3	59.4	76.5
材料費	174,759	17.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	132,953	13.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,147	3.1	11.8	6.4
減価償却費	154,134	15.4	8.7	11.5
経費	304,451	30.3	22.1	32.6
(うち委託料)	142,665	14.2	11.7	14.8
研究研修費	672			
資産減耗費	4			
(2) 医業外費用	92,358			
(うち支払利息)	6,631	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	92.5		103.3	101.5
医業収支比率	67.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	65.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.2		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,190,215
1 固定資産	1,811,382
(1) 有形固定資産	1,756,351
(2) 無形固定資産	9,836
(3) 投資その他の資産	45,195
2 流動資産	1,378,833
(1) 現金及び預金	954,279
(2) 未収金及び未収収益	418,341
(3) 貸倒引当金()	67
(4) 貯蔵品	6,247
3 繰延資産	-
負債合計	1,365,473
1 固定負債	713,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	663,127
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	50,286
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	187,127
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,080
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,100
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	45,947
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	464,933
(1) 長期前受金	969,396
(2) 長期前受金収益化累計額()	504,463
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,824,742
1 資本金	3,029,230
2 剰余金	-1,204,488
(1) 資本剰余金	21,980
(2) 利益剰余金	-1,226,468
負債・資本合計	3,190,215
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	239,383	273,635
資本勘定繰入	43,282	43,282
計	282,665	316,917

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	122.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		備前病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	46	43.2	67.4	64.5
療養	44	75.9	43.4	50.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	59.2	55.6	57.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	16.6	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	21,217,098	
標準財政規模(千円)	12,358,591	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,961,654			
1 経常収益	1,961,654			
(1) 医業収益	1,085,549			
(うち修正医業収益)	1,085,549			
入院収益	577,499			
外来収益	433,663			
診療収入計	1,011,162			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,387			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	876,105			
(うち国・都道府県補助金)	221,163			
(うち他会計補助・負担金)	158,476			
(うち長期前受金戻入)	52,663			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,822,938			
2 経常費用	1,822,938			
(1) 医業費用	1,276,468			
職員給与費	759,316	69.9	59.4	76.5
材料費	146,610	13.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	67,182	6.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,327	6.0	11.8	6.4
減価償却費	73,903	6.8	8.7	11.5
経費	287,882	26.5	22.1	32.6
(うち委託料)	130,225	12.0	11.7	14.8
研究研修費	1,175			
資産減耗費	7,582			
(2) 医業外費用	546,470			
(うち支払利息)	27,802	2.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	138,716			
純損益	138,716			
累積欠損金	1,415,474			
経常収支比率	107.6		103.3	101.5
医業収支比率	85.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	85.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	98.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,344,957
1 固定資産	7,051,558
(1) 有形固定資産	5,322,880
(2) 無形固定資産	2,510
(3) 投資その他の資産	1,726,168
2 流動資産	2,293,399
(1) 現金及び預金	1,514,713
(2) 未収金及び未収収益	735,512
(3) 貸倒引当金()	15,175
(4) 貯蔵品	58,074
3 繰延資産	-
負債合計	4,611,218
1 固定負債	2,670,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,556,246
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,911
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	808,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,379
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,855
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	453,820
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,133,007
(1) 長期前受金	2,343,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,210,171
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,733,739
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-872,925
(1) 資本剰余金	84,967
(2) 利益剰余金	-957,892
負債・資本合計	9,344,957
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	148,881	158,476
資本勘定繰入	37,135	71,438
計	186,016	229,914

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		日生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,545 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	56.9	63.7	61.3
療養	52	81.1	89.3	84.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	70.6	78.2	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.2	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	21,217,098	
標準財政規模(千円)	12,358,591	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,282,378			
1 経常収益	1,282,378			
(1) 医業収益	1,104,685			
(うち修正医業収益)	1,083,544			
入院収益	593,881			
外来収益	430,078			
診療収入計	1,023,959			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,726			
(うち他会計負担金)	21,141			
(2) 医業外収益	177,693			
(うち国・都道府県補助金)	3,376			
(うち他会計補助・負担金)	131,482			
(うち長期前受金戻入)	24,821			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,245,154			
2 経常費用	1,245,154			
(1) 医業費用	1,182,574			
職員給与費	612,457	55.4	59.4	76.5
材料費	292,914	26.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	214,735	19.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,481	6.0	11.8	6.4
減価償却費	59,085	5.3	8.7	11.5
経費	215,104	19.5	22.1	32.6
(うち委託料)	61,114	5.5	11.7	14.8
研究研修費	504			
資産減耗費	2,510			
(2) 医業外費用	62,580			
(うち支払利息)	12,235	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	37,224			
純損益	37,224			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		103.3	101.5
医業収支比率	93.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	91.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	11.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,344,957
1 固定資産	7,051,558
(1) 有形固定資産	5,322,880
(2) 無形固定資産	2,510
(3) 投資その他の資産	1,726,168
2 流動資産	2,293,399
(1) 現金及び預金	1,514,713
(2) 未収金及び未収収益	735,512
(3) 貸倒引当金()	15,175
(4) 貯蔵品	58,074
3 繰延資産	-
負債合計	4,611,218
1 固定負債	2,670,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,556,246
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,911
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	808,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,379
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,855
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	453,820
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,133,007
(1) 長期前受金	2,343,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,210,171
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,733,739
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-872,925
(1) 資本剰余金	84,967
(2) 利益剰余金	-957,892
負債・資本合計	9,344,957
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,626	152,623
資本勘定繰入	22,254	22,254
計	171,880	174,877

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		吉永病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	84.8	87.6	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	84.8	87.6	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.2	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	21,217,098	
標準財政規模(千円)	12,358,591	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,997,165			
1 経常収益	1,997,165			
(1) 医業収益	1,795,843			
(うち修正医業収益)	1,792,676			
入院収益	553,211			
外来収益	1,161,432			
診療収入計	1,714,643			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	81,200			
(うち他会計負担金)	3,167			
(2) 医業外収益	201,322			
(うち国・都道府県補助金)	9,951			
(うち他会計補助・負担金)	96,883			
(うち長期前受金戻入)	24,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,981,944			
2 経常費用	1,981,944			
(1) 医業費用	1,870,633			
職員給与費	916,697	51.0	59.4	76.5
材料費	511,357	28.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	352,200	19.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	145,249	8.1	11.8	6.4
減価償却費	80,892	4.5	8.7	11.5
経費	354,167	19.7	22.1	32.6
(うち委託料)	132,883	7.4	11.7	14.8
研究研修費	1,698			
資産減耗費	5,822			
(2) 医業外費用	111,311			
(うち支払利息)	18,147	1.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	15,221			
純損益	15,221			
累積欠損金	24,050			
経常収支比率	100.8		103.3	101.5
医業収支比率	96.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	95.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	95.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,344,957
1 固定資産	7,051,558
(1) 有形固定資産	5,322,880
(2) 無形固定資産	2,510
(3) 投資その他の資産	1,726,168
2 流動資産	2,293,399
(1) 現金及び預金	1,514,713
(2) 未収金及び未収収益	735,512
(3) 貸倒引当金()	15,175
(4) 貯蔵品	58,074
3 繰延資産	-
負債合計	4,611,218
1 固定負債	2,670,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,556,246
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,911
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	808,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,379
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,855
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	453,820
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,133,007
(1) 長期前受金	2,343,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,210,171
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,733,739
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-872,925
(1) 資本剰余金	84,967
(2) 利益剰余金	-957,892
負債・資本合計	9,344,957
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	96,056	100,050
資本勘定繰入	28,088	28,088
計	124,144	128,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		瀬戸内市			
病院名		瀬戸内市立瀬戸内市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,803 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	110	72.9	79.3	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	72.9	79.3	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	15.7	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	36,048	
決算規模(千円)	24,908,517	
標準財政規模(千円)	11,573,695	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	31.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,866,170			
1 経常収益	1,839,525			
(1) 医業収益	1,502,611			
(うち修正医業収益)	1,453,916			
入院収益	1,002,591			
外来収益	339,795			
診療収入計	1,342,386			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	160,225			
(うち他会計負担金)	48,695			
(2) 医業外収益	336,914			
(うち国・都道府県補助金)	188,227			
(うち他会計補助・負担金)	119,846			
(うち長期前受金戻入)	18,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,645			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,850,350			
2 経常費用	1,849,694			
(1) 医業費用	1,783,739			
職員給与費	980,289	65.2	59.4	67.0
材料費	126,698	8.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	47,834	3.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,242	5.1	11.8	9.4
減価償却費	146,773	9.8	8.7	10.2
経費	527,634	35.1	22.1	28.8
(うち委託料)	222,530	14.8	11.7	13.2
研究研修費	2,130			
資産減耗費	215			
(2) 医業外費用	65,955			
(うち支払利息)	10,606	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	656			
損益	-10,169			
純損益	15,820			
累積欠損金	498,291			
経常収支比率	99.5		103.3	104.5
医業収支比率	84.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	81.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.3		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,096,008
1 固定資産	2,970,455
(1) 有形固定資産	2,412,301
(2) 無形固定資産	2,081
(3) 投資その他の資産	556,073
2 流動資産	1,125,553
(1) 現金及び預金	852,146
(2) 未収金及び未収収益	271,367
(3) 貸倒引当金()	1,764
(4) 貯蔵品	3,743
3 繰延資産	-
負債合計	2,667,276
1 固定負債	1,982,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,855,477
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	127,244
(7) 一 負債	-
2 流動負債	245,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,772
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,916
(9) 前受金及び前受収益	354
3 繰延収益	439,107
(1) 長期前受金	573,253
(2) 長期前受金収益化累計額()	134,146
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,428,732
1 資本金	1,925,948
2 剰余金	-497,216
(1) 資本剰余金	1,075
(2) 利益剰余金	-498,291
負債・資本合計	4,096,008
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,307	168,541
資本勘定繰入	41,999	40,993
計	210,306	209,534

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		真庭市			
病院名		真庭市国民健康保険湯原温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	57.7	51.8	61.3
療養	55	49.0	44.9	49.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	53.1	48.2	55.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	18.6	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	42,725	
決算規模(千円)	33,516,731	
標準財政規模(千円)	19,922,369	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,587,770			
1 経常収益	1,587,770			
(1) 医業収益	1,058,751			
(うち修正医業収益)	1,012,275			
入院収益	521,103			
外来収益	406,251			
診療収入計	927,354			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	131,397			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	529,019			
(うち国・都道府県補助金)	207,721			
(うち他会計補助・負担金)	281,834			
(うち長期前受金戻入)	28,917			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,424,910			
2 経常費用	1,423,904			
(1) 医業費用	1,360,218			
職員給与費	830,723	78.5	59.4	67.0
材料費	220,549	20.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	156,170	14.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,249	4.6	11.8	9.4
減価償却費	112,012	10.6	8.7	10.2
経費	192,740	18.2	22.1	28.8
(うち委託料)	62,082	5.9	11.7	13.2
研究研修費	1,528			
資産減耗費	2,666			
(2) 医業外費用	63,686			
(うち支払利息)	19,519	1.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,006			
損益	163,866			
純損益	162,860			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.5		103.3	104.5
医業収支比率	77.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	88.5		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,452,104
1 固定資産	2,391,613
(1) 有形固定資産	2,375,787
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	15,826
2 流動資産	2,060,491
(1) 現金及び預金	1,858,369
(2) 未収金及び未収収益	188,560
(3) 貸倒引当金()	1,127
(4) 貯蔵品	14,689
3 繰延資産	-
負債合計	1,753,193
1 固定負債	1,064,039
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,515
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	213,524
(7) 一 負債	-
2 流動負債	230,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,752
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,273
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	58,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	458,340
(1) 長期前受金	552,609
(2) 長期前受金収益化累計額()	94,269
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,698,911
1 資本金	2,319,527
2 剰余金	379,384
(1) 資本剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	346,232
負債・資本合計	4,452,104
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	328,109	328,310
資本勘定繰入	70,425	71,924
計	398,534	400,234

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		美作市			
病院名		美作市立大原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,642 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	81.1	78.7	80.5
療養	40	86.0	93.4	92.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	83.6	86.0	86.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.7	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	25,939	
決算規模(千円)	22,652,676	
標準財政規模(千円)	13,656,174	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,320,213			
1 経常収益	1,320,213			
(1) 医業収益	945,884			
(うち修正医業収益)	909,590			
入院収益	571,086			
外来収益	233,474			
診療収入計	804,560			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	141,324			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	374,329			
(うち国・都道府県補助金)	105,400			
(うち他会計補助・負担金)	251,886			
(うち長期前受金戻入)	10,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,049,226			
2 経常費用	1,049,226			
(1) 医業費用	997,773			
職員給与費	624,288	66.0	59.4	76.5
材料費	128,466	13.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	72,708	7.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,062	4.2	11.8	6.4
減価償却費	75,038	7.9	8.7	11.5
経費	169,397	17.9	22.1	32.6
(うち委託料)	34,603	3.7	11.7	14.8
研究研修費	308			
資産減耗費	276			
(2) 医業外費用	51,453			
(うち支払利息)	9,650	1.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	270,987			
純損益	270,987			
累積欠損金	-			
経常収支比率	125.8		103.3	101.5
医業収支比率	94.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	91.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	98.4		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,570,851
1 固定資産	1,711,084
(1) 有形固定資産	1,501,512
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	209,572
2 流動資産	2,859,767
(1) 現金及び預金	2,690,377
(2) 未収金及び未収収益	169,472
(3) 貸倒引当金()	3,500
(4) 貯蔵品	3,418
3 繰延資産	-
負債合計	1,004,264
1 固定負債	749,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	573,006
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	176,685
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	73,370
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,828
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	37,482
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	181,203
(1) 長期前受金	499,502
(2) 長期前受金収益化累計額()	318,299
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,566,587
1 資本金	1,474,151
2 剰余金	2,092,436
(1) 資本剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	2,043,182
負債・資本合計	4,570,851
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	288,180	288,180
資本勘定繰入	19,203	19,203
計	307,383	307,383

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	矢掛町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,875 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	57	85.7	88.5	91.1
療養	60	78.8	85.6	86.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	82.1	87.0	88.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	21.9	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	13,414	
決算規模(千円)	9,356,682	
標準財政規模(千円)	5,648,076	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	85.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,730,137			
1 経常収益	1,701,370			
(1) 医業収益	1,421,941			
(うち修正医業収益)	1,364,541			
入院収益	988,209			
外来収益	326,475			
診療収入計	1,314,684			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,257			
(うち他会計負担金)	57,400			
(2) 医業外収益	279,429			
(うち国・都道府県補助金)	36,284			
(うち他会計補助・負担金)	137,000			
(うち長期前受金戻入)	26,184			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,767			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,717,024			
2 経常費用	1,717,024			
(1) 医業費用	1,634,384			
職員給与費	1,040,766	73.2	59.4	67.0
材料費	188,641	13.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	77,093	5.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,922	6.1	11.8	9.4
減価償却費	114,510	8.1	8.7	10.2
経費	288,158	20.3	22.1	28.8
(うち委託料)	121,495	8.5	11.7	13.2
研究研修費	1,460			
資産減耗費	849			
(2) 医業外費用	82,640			
(うち支払利息)	21,438	1.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-15,654		
	純損益	13,113		
累積欠損金	133,420			
経常収支比率	99.1		103.3	104.5
医業収支比率	87.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,886,426
1 固定資産	2,979,862
(1) 有形固定資産	1,482,625
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,497,237
2 流動資産	906,564
(1) 現金及び預金	506,653
(2) 未収金及び未収収益	393,202
(3) 貸倒引当金()	433
(4) 貯蔵品	7,142
3 繰延資産	-
負債合計	1,985,155
1 固定負債	1,447,786
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,106,322
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	341,464
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	253,367
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	125,785
(2) その他の企業債	178
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,424
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,721
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	284,002
(1) 長期前受金	534,287
(2) 長期前受金収益化累計額()	250,285
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,901,271
1 資本金	1,884,491
2 剰余金	16,780
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	16,780
負債・資本合計	3,886,426
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	195,401	194,400
資本勘定繰入	71,220	89,200
計	266,621	283,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	鏡野町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	48	74.6	71.8	69.3
療養	40	48.6	57.7	59.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	62.8	65.4	64.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	18.4	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	12,062	
決算規模(千円)	12,022,761	
標準財政規模(千円)	7,395,108	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	29.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,450,276			
1 経常収益	1,450,276			
(1) 医業収益	1,325,041			
(うち修正医業収益)	1,290,041			
入院収益	517,765			
外来収益	727,319			
診療収入計	1,245,084			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	79,957			
(うち他会計負担金)	35,000			
(2) 医業外収益	125,235			
(うち国・都道府県補助金)	25,147			
(うち他会計補助・負担金)	5,000			
(うち長期前受金戻入)	15,415			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,478,351			
2 経常費用	1,478,351			
(1) 医業費用	1,423,462			
職員給与費	835,205	63.0	59.4	76.5
材料費	358,618	27.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	276,500	20.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,546	5.2	11.8	6.4
減価償却費	67,450	5.1	8.7	11.5
経費	158,025	11.9	22.1	32.6
(うち委託料)	84,263	6.4	11.7	14.8
研究研修費	2,748			
資産減耗費	1,416			
(2) 医業外費用	54,889			
(うち支払利息)	2,819	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	-28,075			
純損益	-28,075			
累積欠損金	27,666			
経常収支比率	98.1		103.3	101.5
医業収支比率	93.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	90.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	2.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	2.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	95.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,580,785
1 固定資産	726,615
(1) 有形固定資産	725,733
(2) 無形固定資産	882
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,854,170
(1) 現金及び預金	1,658,992
(2) 未収金及び未収収益	195,378
(3) 貸倒引当金()	5,077
(4) 貯蔵品	4,877
3 繰延資産	-
負債合計	473,768
1 固定負債	148,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,854
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	32,188
(7) 一ス債務	65
2 流動負債	148,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,607
(6) リ一ス債務	339
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,032
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	177,374
(1) 長期前受金	730,765
(2) 長期前受金収益化累計額()	553,391
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,107,017
1 資本金	1,279,967
2 剰余金	827,050
(1) 資本剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	822,749
負債・資本合計	2,580,785
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	38,261	40,000
資本勘定繰入	20,211	10,000
計	58,472	50,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市久米南町国民健康保険病院組合			
病院名		国保福渡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,860 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	56.9	51.1	31.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	56.9	51.1	31.6
平均在院日数(一般病床のみ)		29.1	28.0	23.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	795,371			
1 経常収益	794,844			
(1) 医業収益	656,302			
(うち修正医業収益)	565,988			
入院収益	316,663			
外来収益	230,688			
診療収入計	547,351			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,951			
(うち他会計負担金)	90,314			
(2) 医業外収益	138,542			
(うち国・都道府県補助金)	5,548			
(うち他会計補助・負担金)	89,932			
(うち長期前受金戻入)	29,500			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	527			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	818,562			
2 経常費用	818,562			
(1) 医業費用	788,421			
職員給与費	486,343	74.1	59.4	76.5
材料費	73,333	11.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	32,159	4.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,499	5.0	11.8	6.4
減価償却費	78,282	11.9	8.7	11.5
経費	147,045	22.4	22.1	32.6
(うち委託料)	69,812	10.6	11.7	14.8
研究研修費	521			
資産減耗費	2,897			
(2) 医業外費用	30,141			
(うち支払利息)	4,166	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	-23,718			
純損益	-23,191			
累積欠損金	393,911			
経常収支比率	97.1		103.3	101.5
医業収支比率	83.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	71.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	22.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,691,042
1 固定資産	838,583
(1) 有形固定資産	753,859
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	84,724
2 流動資産	852,459
(1) 現金及び預金	737,321
(2) 未収金及び未収収益	112,760
(3) 貸倒引当金()	2,005
(4) 貯蔵品	4,308
3 繰延資産	-
負債合計	446,693
1 固定負債	232,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,846
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	135,208
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,609
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,375
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	48,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,639
(1) 長期前受金	127,453
(2) 長期前受金収益化累計額()	48,814
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,244,349
1 資本金	1,441,716
2 剰余金	-197,367
(1) 資本金剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	-202,430
負債・資本合計	1,691,042
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	179,095	180,246
資本勘定繰入	41,757	48,763
計	220,852	229,009

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。